

2023年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月11日

上場会社名 株式会社ティムコ

上場取引所 東

コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 荻原 浩二

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2023年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の業績(2022年12月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	2,584	5.2	112	43.7	114	33.7	106	39.0
2022年11月期第3四半期	2,456	12.9	78		85		76	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	42.86	
2022年11月期第3四半期	30.82	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第3四半期	5,525	4,667	84.5	1,884.88
2022年11月期	5,727	4,597	80.3	1,856.56

(参考)自己資本 2023年11月期第3四半期 4,667百万円 2022年11月期 4,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期		0.00		12.00	12.00
2023年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,490	6.1	149	31.8	151	26.7	128	2.1	51.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期3Q	3,339,995 株	2022年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2023年11月期3Q	863,481 株	2022年11月期	863,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期3Q	2,476,514 株	2022年11月期3Q	2,476,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2022年12月1日 至2023年8月31日)における日本経済は、コロナ禍からの社会・経済活動の正常化が一段と進んだ一方、継続して不安定なウクライナ情勢や物価上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場では、3密を避けられる屋外アクティビティとして注目された需要からの反動減や、記録的な猛暑による釣行回数の減少などにより低調に推移した一方、アウトドア衣料品市場は、ターミナルを中心とした百貨店やショッピングセンターなどの商業施設に客足が回復したことや、トレッキング需要及び旅行需要の回復に伴う影響などにより、概ね販売は順調に推移しました。

このような状況の中、当社では収益確保に取り組み、当第3四半期の売上高は25億84百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は1億12百万円(前年同期比43.7%増)、経常利益は1億14百万円(前年同期比33.7%増)、四半期純利益は1億6百万円(前年同期比39.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、コロナ禍において3密を避けられる屋外アクティビティとして需要が高まった反動や、原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控えなどに加え、記録的な猛暑による釣行回数の減少などの影響を受け、全般的に市況は低調に推移いたしました。

当社の取り扱うルアー用品やフライ用品の販売に関しては、フライフィッシング用やトラウトルアー用のロッド(釣竿)などの一部商品において大きく売上を伸ばしたものがあつた一方、市況の悪化に伴い全体的に販売が苦戦いたしました。

その結果、当第3四半期におけるフィッシング事業の売上高は7億55百万円(前年同期比9.2%減)となり、セグメント利益(営業利益)は1億28百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、コロナ禍において低迷していたターミナルを中心とした百貨店やショッピングセンターなどの商業施設に客足が回復したほか、トレッキング需要及び旅行需要の回復も見られ、販売は順調に推移しました。特に、透湿防水素材(ゴアテックス)を使用した軽量ジャケットや防虫素材(スコーロン)を使用した商品、フィッシングギア等の販売が前年同期を上回る実績となりました。

その結果 当第3四半期におけるアウトドア事業の売上高は18億14百万円(前年同期比12.7%増)となりました。また、滞留商品の値引き販売が少なかったことなども影響し、セグメント利益(営業利益)は1億20百万円(前年同期比90.8%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期に関しては、その他売上高は14百万円(前年同期比0.4%減)となりました。また、セグメント利益は8百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ2億1百万円減少し55億25百万円となりました。

流動資産は、電子記録債権の増加65百万円や商品の増加82百万円、その他に含まれる立替金の増加15百万円などの一方で、現金及び預金の減少2億92百万円や受取手形及び売掛金の減少1億37百万円、有価証券の償還による減少99百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3億68百万円減少し、36億41百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産や無形固定資産の減価償却などによる減少13百万円などの一方で、投資有価証券の増加1億70百万円や、投資その他の資産のその他に含まれる敷金および保証金の増加6百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億66百万円増加し、18億83百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ2億71百万円減少し8億57百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金の増加12百万円など的一方で、支払手形及び買掛金の減少2億26百万円や未払法人税等の減少14百万円、その他に含まれる未払費用の減少26百万円や返金負債の減少17百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億73百万円減少し、6億19百万円となりました。

固定負債は、その他に含まれるリース債務(長期)の減少4百万円など的一方で、退職給付引当金の増加6百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1百万円増加し2億38百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ70百万円増加し、46億67百万円となりました。これは主に、四半期純利益1億6百万円の発生など的一方で、前事業年度決算の配当金29百万円やその他有価証券評価差額金の減少6百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年1月19日の「2022年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,855,543	1,562,913
受取手形及び売掛金	524,311	386,844
電子記録債権	87,423	152,732
有価証券	99,996	—
商品	1,361,026	1,443,058
その他	82,033	96,415
貸倒引当金	△394	△108
流動資産合計	4,009,939	3,641,857
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	460,222	452,585
土地	653,376	653,376
その他(純額)	21,282	19,286
有形固定資産合計	1,134,881	1,125,249
無形固定資産	23,410	19,657
投資その他の資産		
投資有価証券	427,871	598,491
その他	131,325	140,473
投資その他の資産合計	559,197	738,964
固定資産合計	1,717,489	1,883,871
資産合計	5,727,429	5,525,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,649	398,083
未払法人税等	39,925	25,007
賞与引当金	2,067	14,736
その他	226,583	181,653
流動負債合計	893,225	619,481
固定負債		
退職給付引当金	165,052	171,641
その他	71,352	66,666
固定負債合計	236,404	238,307
負債合計	1,129,629	857,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,834,701	3,834,701
利益剰余金	155,921	232,346
自己株式	△478,060	△478,060
株主資本合計	4,592,562	4,668,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,237	△1,046
評価・換算差額等合計	5,237	△1,046
純資産合計	4,597,799	4,667,939
負債純資産合計	5,727,429	5,525,728

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年12月1日 至2022年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)
売上高	2,456,812	2,584,869
売上原価	1,338,172	1,352,174
売上総利益	1,118,639	1,232,694
販売費及び一般管理費	1,040,226	1,120,042
営業利益	78,412	112,652
営業外収益		
受取利息	1,362	2,014
受取配当金	1,102	1,248
為替差益	4,364	—
その他	406	589
営業外収益合計	7,236	3,851
営業外費用		
為替差損	—	1,871
その他	75	251
営業外費用合計	75	2,122
経常利益	85,574	114,381
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,932
雇用調整助成金等	3,271	—
固定資産売却益	29	296
特別利益合計	3,301	21,228
特別損失		
固定資産除却損	0	48
特別損失合計	0	48
税引前四半期純利益	88,875	135,561
法人税、住民税及び事業税	17,732	28,744
法人税等調整額	△5,194	673
法人税等合計	12,538	29,418
四半期純利益	76,337	106,142

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	832,285	1,609,540	2,441,825	14,986	—	2,456,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	832,285	1,609,540	2,441,825	14,986	—	2,456,812
セグメント利益	145,616	63,142	208,759	8,781	△139,127	78,412

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△139,127千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	755,600	1,814,345	2,569,945	14,923	—	2,584,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	755,600	1,814,345	2,569,945	14,923	—	2,584,869
セグメント利益	128,817	120,495	249,313	8,685	△145,346	112,652

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△145,346千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。